



新世纪
にあります。

新世纪应用型高等教育
日语类课程规划教材

新编日本概况

新世纪应用型高等教育教材编审委员会 组编

主编 鲁 峥 李丽娜



大连理工大学出版社
DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY PRESS



新世纪应用型高等教育
课程规划教材

新编日本概况

新世纪应用型高等教育教材编审委员会 组编

主编 鲁 峥 李丽娜



大连理工大学出版社
DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

新编日本概况 / 鲁峥, 李丽娜主编. —大连: 大连理工大学出版社, 2012. 6

新世纪应用型高等教育日语类课程规划教材

ISBN 978-7-5611-6963-6

I. ①新… II. ①鲁… ②李… III. ①日语—高等学校—教材②日本—概况 IV. ①H369.4:K

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 108446 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84703636 传真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn URL:http://www.dutp.cn

大连美跃彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm×260mm 印张:8.75 字数:202 千字
印数:1~2000

2012 年 6 月第 1 版

2012 年 6 月第 1 次印刷

责任编辑:梁 勃

责任校对:李 琳

封面设计:张 莹

ISBN 978-7-5611-6963-6

定 价:24.80 元

前 言

日本是中国一衣带水的近邻。自20世纪70年代中日邦交正常化，特别是我国实行改革开放以来，中日两国在经贸、科技、文教等各方面的交流和人员往来越来越频繁。认识日本，了解日本过去和现在的基本情况，对于学习日语的学生和所有对日交流人员来说是很有必要的。

《新编日本概况》是以各高校日语专业的学生和准备参加全国高等教育日语专业自学考试的考生为对象，从日语教育视点出发，考虑到我国日语教学的具体情况并参照了日语专业教学大纲及高等教育日语专业自学考试大纲而编写的。

本教材共分十章，分别介绍日本的地理、政体、历史、经济、科教、文化、风俗习惯、文学、社会和日本人民国民性等概况。为了便于学习，在章节设计中力求重点突出，在叙述中力求简单明了，以使学习者在有限的时间内较快地了解、把握日本的各方面概况。对于课文中出现的难读词语的发音都进行了标示，并且每节之后有该节的重点提问、注释，便于掌握要点。同时配有插图，形象直观、引人入胜。

本教材由上海第二工业大学鲁峥、李丽娜主编。具体编写分工如下：鲁峥负责第一、二、六、七、八、九、十章、参考答案和模拟试题的编写以及全书统稿（含主要参考书目）；李丽娜负责第三、四、五章的编写。

尽管编者倾心而作，但书中难免有不尽如人意之处，敬请广大读者批评指正，并将意见及时反馈给我们。

所有意见和建议请发往：dutpwy@163.com

欢迎访问我们的网站：<http://www.dutpbook.com>

联系电话：0411-84707604 84706231

编 者

2012年6月

目次

第一章 日本の地理	1
第一節 位置	2
第二節 面積と人口	3
第三節 山地と火山	7
第四節 川・湖・平地	8
第五節 気候と影響	10
第六節 自然災害	12
第七節 日本の資源	13
第八節 各地方の特徴	16
第二章 日本の政体	27
第一節 天皇	28
第二節 日本の皇室	29
第三節 日本の元号	30
第四節 日本国憲法	31
第五節 政治機構	32
第六節 選挙	33
第七節 国名・国旗・国章・国歌・国花・国鳥・国石	35
第三章 戦後の日本経済	37
第一節 戦後直前の日本経済状況	38
第二節 経済改革	39
第三節 高度経済成長	40
第四節 日本の産業	42
第五節 中小企業	46
第六節 バブル不況	47
第七節 日本の経済現状	48
第四章 日本の企業経営	51
第一節 現代の企業	52
第二節 企業の特徴	53

第三節	終身雇用の制度	54
第四節	意志決定の仕組み	56
第五節	年功序列	57
第六節	定年	59
第五章	科学と教育	63
第一節	科学技術の現状と動向	64
第二節	教育	66
第六章	日本の文化	69
第一節	伝統芸能	70
第二節	伝統芸術	73
第三節	伝統のスポーツ	75
第七章	日本の風俗習慣	79
第一節	祝日	80
第二節	年中行事	82
第三節	祭り	85
第四節	料理	88
第八章	日本の文学	91
第九章	日本の社会	95
第一節	社会保障	96
第二節	社会福祉	98
第三節	公害問題	99
第四節	交通	101
第十章	日本人	105
第一節	日本人の祖先	106
第二節	自然観	107
第三節	勤労意識	108
第四節	集団主義	109
第五節	序列社会	110
第六節	付き合い	111
模擬テスト		113
練習問題の答案		117

第一章 日本の地理



- 第一節 位置
- 第二節 面積と人口
- 第三節 山地と火山
- 第四節 川・湖・平地
- 第五節 気候と影響
- 第六節 自然災害
- 第七節 日本の資源
- 第八節 各地方の特徴



第一節 位置

日本はアジア大陸の東側にあり、形の細長い島国である。東に太平洋、西に日本海、南に東海があり、北にオホーツク海を隔て、中国と隣接している。上海から九州の長崎まで約460海里、台湾省から日本の南西諸島の南端までは、約60海里しか離れていない。

このような位置は大陸文化を取り入れるのに便利なので、様々な分野で古くから中国の影響をかなり受けている。それが日本漢字と音読みというところからみると分かるのである。

日本は東経約123度から154度、北緯約20度半から46度間にあり、首都東京は東経140度、北緯36度にある。

日本の国土は北海道・本州・九州・四国の四つの大きな島ほか、散在する6847の島々からなっている。これらは日本列島と総称されている。

四つの大きな島は各陸上交通で結ばれている。本州と北海道を結ぶ青函トンネル、本州と四国を結ぶ三つの本四架橋。本州と九州を結ぶ関門大橋などがある。

【練習問題】

- 問1 日本はアジア大陸の東にありますか。西にありますか。
- 問2 日本海はどこにありますか。
- 問3 オホーツク海は日本海の東にありますか。西にありますか。



第二節 面積と人口

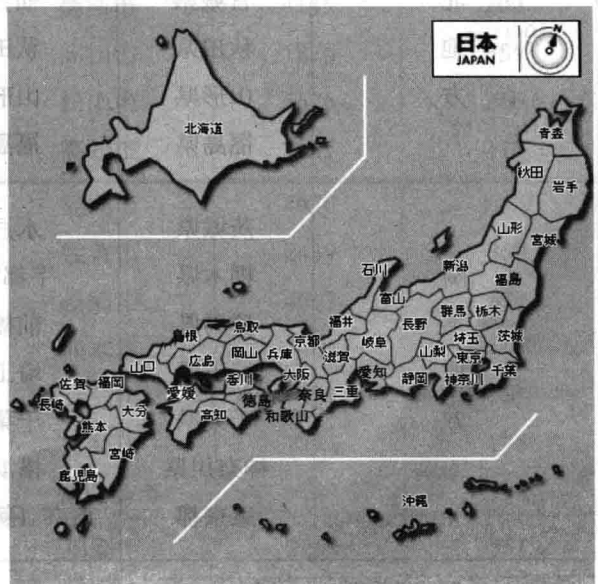
国土の面積は約38万平方キロメートルで、中国、アメリカの25分の1、ロシアの45分の1に当たる。また韓国の4倍にあたる国である。日本国土面積の約70%は急峻な山丘地帯であり、森林に覆われている。人が住める平地の面積は24%にしかすぎなく、ここに人口の約67%が集中している。北海道は本州の北にあり、九州は本州の南西にあつて、四国は本州の南にある。その中で、本州の面積が一番大きく、全国面積の61%を占めている。ついで、北海道は22%、九州（沖縄県を含む）は12%、四国は5%をそれぞれ占めている。

日本の国土は、北から北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の九つの地方に分けられる、これらの地方区分は地形などの自然的特性と地域の産業や歴史の変遷を基礎にして分けられたもので、行政上の地方区分ではない。

行政上では、日本は1都（東京都）、1道（北海道）、2府（大阪府・京都府）、43県に分けられている。東北地方と関東地方には県が十二あり、中部地方には九つの県があり、近畿地方と中国地方には県が十、四国地方には県が四つ、九州地方には県が七つある。沖縄地方は沖縄県が一つだけある。日本の都、道、府、県にはそれぞれ都庁、道庁、府庁、県庁が設けられ、その下に市、町、村などの順序で行政機構が設けられている。

日本の47の行政区域の中で、面積が一番広いのは北海道で、東京都の37倍もあり、一番狭いのは香川県で、北海道の45分の1しかない。

2010年国勢調査によると、現在日本の総人口は1億2805万6000人である。そのうち、男性の平均寿命は78.79歳で世界4位、女性は85.75歳で世界1位である。全体の平均寿命でも世界1位の長寿国である。日本の人口は、世界では中国、インド、アメリカ、インドネシア、ブラジル、パキスタン、バングラディッシュ、ロシア、ナイジェリアに次いで第10位である。しかし、人口が多い10ヶ国の中では、面積が一番小



さいため、1平方キロメートルあたりの人口（人口密度）は338人で、インドに次いで二番目に多くなっている。

第二次世界大戦前にも、農村などから都市圏への人口の移動が始まったが、日本経済の急速な発展に伴い、特に60年代から三大都市圏^(注1)への人口流入現象は激化した。これにしたがって、山村や農村を中心に、地方では人口が減少する地域が現われた。

70年代になると、三大都市圏への人口流入は減少し、大都市圏から地方へ分散する人口移動が見られた。これは、工場が地方に分散する傾向が強まったことなどが要因としてあげられる。このような人口の移動先の多くは山村や農村ではなく、地方の中心都市や大都市周辺地域であった。

このような地方の都市への人口集中は現在も続いている。今、三大都市圏50キロ以内に住む人口は日本の総人口の43%を占めている。しかし、これらの地域では地価の高騰、住宅の不足、交通事情の悪化、ゴミ処理問題など深刻な問題が続いている。

これに対して一部の地方では、人口の流出に伴って若い人々が減少したために、出生数が少なくなり、一層人口減少に悩む過疎地域^(注2)もある。このような地域では、労働力が不足し、税収が減少するなど、地域社会の存立する基盤が損なわれつつある。

行政区一覧表（2010年10月1日）

地方 \ 内訳	行政区	庁所在地	面積 (km ²)	人口密度 (人/平方キロ)
北海道 東 北 地 方	北海道	札幌市	83456	68
	青森県	青森市	9607	159
	岩手県	盛岡市	15278	96
	宮城県	仙台市	7285	334
	秋田県	秋田市	11612	113
	山形県	山形市	9323	170
	福島県	福島市	13782	154
	関 東 地 方	茨城県	水戸市	6095
栃木県		宇都宮市	6408	307
群馬県		前橋市	6363	312
埼玉県		埼玉市	3797	1888
千葉県		千葉市	5156	1159
神奈川県		横浜市	2415	3377
東京都		東京（新宿区）	2187	5783

中部 地方	新潟県	新潟市	12852	227
	富山県	富山市	4247	400
	石川県	金沢市	4185	280
	福井県	福井市	4189	197
	山梨県	甲府市	4465	206
	長野県	長野市	13585	174
	岐阜県	岐阜市	10598	204
	静岡県 愛知県	静岡市 名古屋市	7779 5156	507 1344
近畿 地方	三重県	津市	5776	321
	滋賀県	大津市	4017	326
	京都府	京都市	4613	565
	大阪府	大阪市	1893	4615
	兵庫県	神戸市	8392	655
	奈良県	奈良市	3691	383
	和歌山県	和歌山市	4725	229
中国 地方	鳥取県	鳥取市	3507	175
	島根県	松江市	6707	115
	岡山県	岡山市	7112	276
	広島県	広島市	8477	339
	山口県	山口市	6110	256
四国 地方	徳島県	徳島市	4145	200
	香川県	高松市	1876	551
	愛媛県	松山市	5676	266
	高知県	高知市	7105	115
九州 地方	福岡県	福岡市	4970	1009
	佐賀県	佐賀市	2439	360
	長崎県	長崎市	4092	379
	熊本県	熊本市	7404	268
	大分県	大分市	6338	212
	宮崎県	宮崎市	7734	175
	鹿児島県	鹿児島市	9187	196
沖縄地方	沖縄県	那覇市	2269	551

【練習問題】

問1 日本の総人口はどれぐらいですか。

問2 人口密度とは何ですか。

問3 日本全体の人口密度はどうですか。

問4 日本で一番人口密度が高いのはどこですか。

問5 日本で一番人口密度が低いところはどこですか。

【注 釈】

- ① 三大都市圏：東京圏（23.5%）・阪神圏（12.9%）・名古屋圏（6.8%）を指す。これらの地域では巨大都市を形成し、政治、経済、文化の中心となる。
- ② 過疎地域：高度経済成長に伴う都市への人口の急速な流出が原因で、地域の人口が少ないため社会基盤が崩壊し、社会生活が円滑に行われなくなった地域を指す。

第三節 山地と火山



日本の地形を見ると、約70%以上が山地で、高く険しい山や火山が多いのが特徴である。日本は島国である同時に山国でもある。しかも、山地は傾斜が急で険しく、広い平野地帯があまりない。また、山地が海岸まで広がっていて河川は大部分その長さが短く急である。

農耕地は全国土の15%程度で、宅地は3%、工業用地は0.4%しかない。北海道には日高山脈^{ひだかさんみやく}などがあり、本州の中央部にある飛騨^{ひだ}・木曾^{きそ}・赤石^{あかし}の各山脈は高度3000メートル前後の山々を連ね、日本アルプスとも呼ばれている。本州の中央山脈を境に日本海側は裏日本といい、太平洋側は表日本という。また



富士山

中国地方には中国山地、四国には四国山地、九州には九州山地などがある。2000メートル以上の山が532で、その中で富士山は高さが3776メートルあり、日本で一番高い山である。昔、何度も噴火を繰り返していたが、今は活動を休んでいる。

日本列島は環太平洋地震帯の上であり、火山活動も活発で、世界でも有数の地震多発地帯である。日本には火山は大小合わせて76もあり、活火山だけでも50以上ある。



阿蘇山

日本の山地は、そのほとんどが火山の活動によってできたもので、日本列島は七つの火山帯によって覆われている。七つの火山帯とは、千島^{ちしま}、那須^{なす}、鳥海^{のりくら}、富士、乗鞍、白山、霧島である。火山の中には、今でも活動を続ける阿蘇山^{あそさん}、三原山^{みはらやま}、浅間山^{あさまやま}などの火山がある。火山帯には、変化に富んだ美しい眺めの山が多く、温泉もたくさんあり、観光地として利用されている。

★高い山

- ①富士山——3776メートル 山梨県・静岡県
- ②北岳——3192メートル 山梨県

- ③奥^{おく}穂^ほ高^{たか}岳^{だけ}——3190メートル 長野県・岐阜県
- ④間^{あい}の岳^{だけ}——3189メートル 山梨県・静岡県
- ⑤槍^{やり}ヶ岳^{だけ}——3180メートル 長野県

【練習問題】

問1 日本の国土の何パーセントぐらいが山地ですか。

問2 日本アルプスはどこにありますか。

問3 なぜ日本には温泉がたくさんありますか。

問4 日本で一番高い山は何という山ですか。高さは何メートルですか。

問5 日本には火山の数は大体いくつありますか。



第四節 川・湖・平地

日本には主な河川が20あまりある。その多くは、国土の中央に連ねる山々を境にして、太平洋側と日本海側に流れる。このため、川は短く、急流も多く、雨が降ると、川の水がすぐ溢れて洪水を起こしやすい。しかし、普段は川に水があまりない。

そのため、日本では、堤防を作ったり、ダムを作って水の量を調節したりして洪水を防ぐ努力をしてきた。川の水は生活用水や農業・工業用水、さらに水力発電用など、幅広く利用されている。

湖は山間にあり、水が澄んでいて眺めの良いものが多い。湖の中で一番大きいのは琵琶^{びわ}湖^こであり、その面積が670.33km²である。琵琶湖は地盤運動によって断層が生まれ、

それが落ち込んでできたものである。また、一番深い湖は田沢湖^{たざわこ}で、水深423mである。このほか、砂丘、砂州などによって外海と分離してできた潟として、霞ヶ浦^{かすみうら}168km²がある。

日本では平地（平野、盆地、台地を含む）は狭く、しかも散在している。その面積は国土の約24%ほどにすぎない。川が海に流れ込むあたりには、たいてい平野ができてい
る。関東平野、石狩平野、新潟平野、濃尾平野などが大きな平野であるが、世界的に見ると非常に小さい平野にすぎない。また、平地のほかに山に囲まれた盆地や台地がある。盆地は中央高地や東北地方に多く、台地は関東地方や九州地方などで見られる。

★長い川

- ①信濃川^{しなのがわ}——367km 新潟県・長野県・群馬県
- ②利根川^{とねがわ}——322km 群馬県・埼玉県・茨城県・千葉県・栃木県・東京都
- ③石狩川^{いしかりがわ}——268km 北海道
- ④天塩川^{てしおがわ}——256km 北海道
- ⑤北上川^{きたかみがわ}——249km 岩手県・宮城県

（なお、流域面積では、利根川が最も広い河川である。）

★大きい湖

- ①琵琶湖——670.5km² 滋賀県
- ②霞ヶ浦——167.6km² 茨城県
- ③サロマ湖——150.4km² 北海道
- ④猪苗代湖^{いなわしろこ}——103.3km² 福島県
- ⑤中海^{なかうみ}——86.2km² 鳥取県・島根県

★主なダム

- ①黒部^{くろべ}——発電 富山県
- ②高瀬^{たかせ}——発電 長野県
- ③浦山^{うらやま}——農業・河川・上水・工業 埼玉県
- ④徳山^{とくやま}——農業・河川・上水・工業・発電 岐阜県
- ⑤奈良俣^{ならまた}——農業・河川・上水・工業 群馬県

【練習問題】

問1 なぜ日本の川は短くて流れが急ですか。

問2 日本で一番大きい平野はどの平野ですか。

問3 日本で一番大きい湖はどの湖ですか。



第五節 気候と影響

南北に長く伸びている日本列島は亜熱帯から亜寒帯に至るまで幅広い気候帯にわたるから、地域によって気候の差がかなり大きい。しかし、部分の地域は海洋性の温和な気候で四季の区分がはっきりしている。

南北に細長いため、南と北では気候がかなり違っている。日本の最北端の稚内と最南端の南西諸島、那覇地域の年平均気温差は16度にも達する。北海道の冬は平均気温が0℃以下になり、-10℃以下に下がる日も珍しくないが、沖縄や小笠原方面の冬の平均気温は15℃以上になっている。

起伏の激しい山脈が日本列島を縦断して、太平洋側と日本海側の気候の差が激しい。太平洋側は夏には東南の季節風が吹いて蒸し暑く、雨の日が多く、冬には乾燥した晴れた日が多く、季節によって大雪が降ることもある。これに対して、日本海側では、夏に割合晴天の日が続くが、冬は雪や雨の日が多く、どんよりと曇った日が続く。世界有数の多雪地帯である新潟県などでは、積雪が4~5mにも達するところがある。その気候の特色によって、それぞれ「太平洋側の気候」「日本海側の気候」と呼ばれている。それだけでなく、気候の区分として、「北海道の気候」「瀬戸内の気候」「南西諸島の気候」などもある。

川は短く急流が多くに大きな変化を与えるものに、梅雨と台風がある。日本では、毎年6月上旬から7月中旬にかけて高温・多湿の雨季になる。このころを「梅雨」と言う。梅雨には毎日雨が降る。雨が降らない日にもあまりいい天気にはならない。

日本では、毎年8月から10月にかけて台風が多く来る。台風は南の海で発生した熱帯性低気圧がだんだん発達したものである。台風は毎年多くの風水害を日本列島にもたら

す。日本の風水害の80%は台風によるものである。

春と秋は日本の大部分の地域ではきれいで快適な季節に当たり、観光に絶好の時期である。特に日本人が一番好きな桜は、九州南部地方では3月末から咲き始め、北海道では5月10日頃に花が咲く。南から北まで桜が咲くことを「桜前線」と言う。だから、この桜前線を追って花見の旅に出たら、長く三ヶ月の花見を楽しむことができる。



ちなみに、花見というのは桜の咲いている間に、家族や仕事仲間が公園などに出かけ、桜の木の下に敷物を敷き、ご馳走を出し、桜を見ながら食べたり、飲んだり、歌ったりして、大騒ぎする宴会のことである。



ところで、春の花見に当たる秋の行事が紅葉狩りである。日本に紅葉など秋になると赤くなる木が多いので、世界でもっとも紅葉のきれいな国として知られている。紅葉が一番有名なところはやはり歴史的な遺跡がたくさん残っている京都を中心とした地域である。

気候は産業や生活に大きな影響を与えている。夏は高温になるので、稲作が行われ、そのあとに、涼しい気候に適する小麦が作られる。東北では冷帯性のりんごやジャガイモが、西南では温帯性の蜜柑や茶が収穫される。日本人は複雑な気候の特色をよく知り、それぞれの土地の気候に応じて工夫をするなど、知恵と努力を積み重ねて、自分の生活を築いてきたのである。日本人はこのような季節の特色の下、農事と結びついた季節感が鋭く、それが美意識に反映して日本人の感性を形成してきた。

【練習問題】

問1 日本海側と太平洋側では気候がどう違いますか。

問2 梅雨の時には、どんな天気が続きますか。

問3 台風はいつ多く来ますか。